

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年2月15日事業所名こどもサポート教室「きりり」相模大野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・パーティション移動により広さの調整している。 ・回りの雑音が気になるお子さんには個室の利用を促している。 	
	②	職員の配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・指定基準を守った人員を配置している。 	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内はバリアフリーになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・床が固く、活動によっては危険→床マットを検討したい。 ・洗面所に段差がある為、照明をもっと明るくする。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・床にマットを敷き安全性を配慮する。 	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシート活用により支援の進捗を確認する。 	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度実施して改善に繋げている。 	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・会社の HP の事業所ページに掲示している。 	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・外部の第三者評価は実施できていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップに向けて積極的に研修会に参加している。 	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の協力も得ながらアセスメントを行い、計画を作成している。 	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	<ul style="list-style-type: none"> 会社で共通のアセスメントシートを利用している。 	

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・利用者の状況に応じた個別支援計画を作成している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援計画をもとにした支援を提供しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・職員間で情報を共有しながらプログラムを作成しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・担当の職員を固定せず輪番にするなど工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・就学に向けた小集団を実施し考えて行動する練習を行っている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	○	・前回までの支援記録の確認や週1回ミーティングで共有	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	○	・必要な支援の進め方や引継ぎは口頭で次の指導員に伝える	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・職員間で支援の情報を共有しながら改善に繋がっています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・定期的モニタリングを実施しております。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児発管を中心に参加するようにしています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・地域の研修に参加し地域との連携を持つ	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	○	・医療的ケアが必要な子どもの利用はありません。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	○	・医療的ケアが必要な子どもの利用はありません。	

	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて、情報共有、連携を行っております。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・学校への訪問、連絡を行っている	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・市主催の研修などにも参加しています。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・交流機会はありませんが、必要に応じて訪問等を行って連携を行っています。	
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・支援後のフィードバックなどを参考にしながら次の支援に活かしています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		・保護者からの相談に随時対応しております。	・乳幼児クラスの設置で専門家の指導の元に親子教室（ペアトレ）を実施予定
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に丁寧な説明を心掛けています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・必ず説明と同意を得ております。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・随時、ご相談いただいたときに助言等を行っています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・就学に向けた保護者会を実施予定
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・迅速な対応が取れるように体制を整備しております。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・鍵のかかる書庫に保管するなどして取り扱っています。	

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・状況に応じた、丁寧な聞き取りやコミュニケーションを取るように心掛けています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルを作成し、実施しております。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・月に一度避難訓練を実施しております。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・保護者からの聞き取りを十分に行い、必要に応じて医師との連携を行うようにしています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・食事提供なし	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・校舎職員がいつでも書き込み閲覧ができるシートを活用して共有を行っている。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・委員会を設置し、適切な対応を行っています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・身体拘束の研修を受け適切に行っている	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」相模大野校 保護者等数（児童数：16人 回収数：16人割合：100%）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	3			・基本的に座学？ですと十分なスペースだと思います	・運動遊びも実施しておりますが2ブース使用したり工夫して配置しております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14			2	・専門職の提示はないのでわからない ・先生のプロフィール、人数などが分からない	・重要事項説明書に記載しておりますが職員のプロフィールを発信予定です。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	4			・視覚優位の子どもの順番を目で見てわかるようにするなど、うまくやれていると思います。	・見通しいをつけることで不安を取り除き、伝わりやすい視覚優位を心がけております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1			・子どもが落ち着いて活動できる環境になっていると思います。 ・ベビーカーに乗る年の子どもがいるので、バリアフリーだとうれしい	・エレベーターに乗る前に段差がありご不便をおかけしております。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	1		1	・まだ始めたばかりなので ・子どもの成長に応じて、段階的に計画がされていると思います。	・定期的な事業所内相談を実施し支援計画もニーズや課題に沿ったもので作成しております。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	1		1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16				・活動後には、その日の活動のねらい等について説明してもらっています。	・支援のフィードバックでは、出来るだけわかりやすくお伝えさせていただいております。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	2	1	1	・パズルはもう少し種類があっても良いと感じる ・新しい遊ぶは、帰ってから家でもやるなど気に入っているようです。	・低年齢のお子様向けにも支援教材も追加購入しております。 ・小集団での工作やゲームは楽しんでご参加いただいております。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	3	4	3	・具体的な経験無し 不明	・交流は現在検討しておりません。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15		1			
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15			1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	3	1	3		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1			・専門家の視点で現状を説明して下さるので、親としても現状の課題を把握できています。	・職員間、保護者様との共通理解で成長を促していけるように考えております。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16				・親にして「なぜこうなるんだろう？」というようなことに対してアドバイスをいただいています。	・来所時に出来るだけ声をかけさせていただき、お悩みに対しては個室にて相談に伺わせていただきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	4	3		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	1			・具体的な経験無し 不明 ・施設の方は話しやすく色々丁寧に説明して下さる。 ・幼稚園への訪問なども実施していただきました。コロナ禍ではリモートでの対応もしていただきました。	・必要に応じて保育園・幼稚園への訪問や聞き取りも行っております。 ・就学に向けたアドバイスやご案内をしております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	1	1	4		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	1		3		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	2		7		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	3		7		

満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	16				<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に子どもの出来事をよく覚えていてくださるので安心です。 ・楽しくやれているので成長につながっていると思います。 ・日によって違ったり個人・グループによって異なる 	・相模大野校ではお子様に笑顔でお帰りいただくことを1番に考えております。
	③	事業所の支援に満足しているか	16					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。